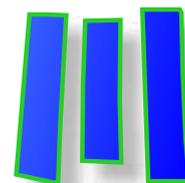
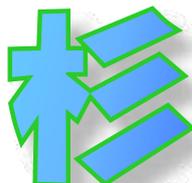
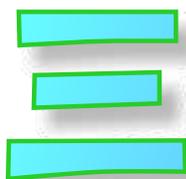
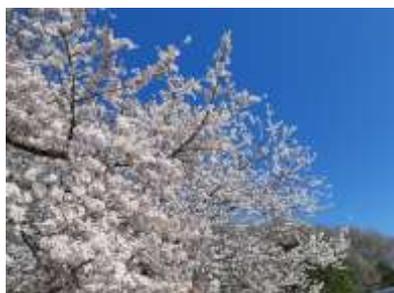


栃木市立小野寺小学校 学校だより



令和4年4月号 校長 江田 慶久



今年も満開の桜が小野寺小学校の春を美しく彩りました。また、どの学年の花壇にも、チューリップたちが可愛く咲き誇りました。

新型コロナウイルス感染症の拡大には予断を許しませんが、新入生13名を迎え、無事に令和4年度を迎えられたこと、大変うれしく思います。今年度、印出校長先生の後任として赴任しました江田慶久(えだよしひさ)と申します。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。子どもたちの健やかな成長のために誠心誠意努めさせていただきます。今年度も、子どもたちのために、学校教育へのご理解・ご協力、よろしくお願ひ致します。

令和4年度の小野寺小学校の教職員は20名です。小野寺っ子の「笑顔」と「元気」のために、保護者・地域の皆さんとの連携を大切に、教職員が一丸となって教育に取り組んでまいります。1年間、よろしくお願ひいたします。



校庭から見える三轟山

<第1学期始業式>



4月8日、待ちに待った子どもたちとの出会いの日が来ました。明るいあいさつに、子どもたちの優しさを感じ、とても幸せな気持ちになりました。

始業式の校長式辞では、「95名全員が毎日、『笑顔』で登校し、『元気』に生活して、『笑顔』で帰ることができる学校にしよう。そのためには、お友達に対して『優しい気持ち』をもとう。」という話をしました。しかし、その話が必要なかったと思えるくらい、随所に、子どもたちの「優しい気持ち」が感じられ、私自身が子どもたちから「元気」をもらい、「笑顔」になりました。そして、心を込めて校歌を歌う2～6年生の姿はとても素敵でした。臨時休業下での開校以来、2年間の子供たちと教職員の努力の成果を感じました。

本校の教育目標は、

自分から進んで学ぶ子ども
思いやりのある子ども
心身ともにたくましい子ども

ですが、そのことも分かってきているようで、式辞の後半は次のように内容を変えました。

先生には、苦手なことがたくさんあります。みんなにも苦手なことがあるかもしれません。でも、「一生懸命」やっていれば、いつか、なんとかなります。自分自身は「一生懸命」に、お友だちには「優しい気持ち」でこれからがんばっていきましょう。

<始業式後の休み時間>



大人は「桜、散っちゃったね。」で終わってしまうところ、子どもたちは、夢中で花びらを集め、全身で『桜シャワー』で楽しんでいました。子どもたちの柔軟な発想と自然を満喫する姿、そして、小野寺小学校を囲む自然の豊かさに、感動の連続でした。

<入学式>

11日、入学式を行いました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新入生は、入退場も、新入生呼名のお返事も、お話を聞く態度もとてもしっかりしていて、大変立派でした。また、在校生を代表して参列した6年生の存在も大変頼もしく、我々教職員や新入生の気持ちを落ち着かせてくれました。さすが、「小野寺小の顔」です。

<給食スタート>

11日、今年度の給食が始まりました。みんな衛生面の約束を守りながら準備し、おいしそうに食べていました。



<お知らせ>

▶ 校庭のひび割れについては、ご心配をおかけしております。現在、市の学校施設課と連携し、観測錐による測定を続けております。



▶ 本校のホームページにおいて、学校の教育活動や子どもたちの活動の様子等を紹介しております。ぜひご覧ください。



ホームページアドレス

<https://tm2.tcn.ed.jp/onodera-es/>